

報道関係各位

2017年1月10日

ピアニスト小山実稚恵
東京交響楽団ニューイヤーコンサートのソリストとして
毎年の共演を発表

公益財団法人東京交響楽団(理事長 澤田秀雄)はピアニスト小山実稚恵氏を、2018年1月公演以降も引き続きニューイヤーコンサートのソリストとして毎年迎えることを2017年1月8日・9日の同「ニューイヤーコンサート2017」の舞台上にて発表いたしました。発表当日は、《ショパン:ピアノ協奏曲第1番》の演奏を終えたばかりの小山氏自身が、東京交響楽団桂冠指揮者秋山和慶と公益財団法人専務理事・楽団長大野順二とともに、満員の聴衆に向けて話しました。

東京交響楽団ニューイヤーコンサートは1978年から2015年まで中村絃子氏をソリストとして毎年開催している(1979年は共演せず)特別演奏会です。小山実稚恵氏は、ショパン国際コンクール・チャイコフスキー国際コンクールの世界二大国際コンクールにおいて入賞された唯一の日本人ピアニストとして、人気、実力とともにまさに日本を代表するピアニストです。東京交響楽団主催公演の中でも抜群の人気を誇る、伝統のニューイヤーコンサートのソリストとして、共に新たな時代を築いてまいります。

小山実稚恵氏のコメント

「このたび、東京交響楽団の伝統あるニューイヤーコンサートに、2018年以降も毎年出演させていただくことになりました。オーケストラからの思いがけないお申し出に驚きつつも、大変光栄に感じております。来年は、私が愛してやまない作品、ラフマニノフの2番の協奏曲を演奏する予定です。年初の晴れやかなコンサートで、音楽の喜びを皆様と共有出来ますことを幸せに思います。— 小山実稚恵」

来年2018年1月のニューイヤーコンサート概要も決定いたしました。引き続き皆様には同公演をご紹介賜りたく何卒お願い申し上げます。

<公演情報>

東京交響楽団特別演奏会 ニューイヤーコンサート2018

2018年1月6日(土)15時開演 所沢市民文化センター ミューズアークホール

2018年1月7日(日)14時開演 サントリーホール

2018年1月8日(月・祝)14時開演 横浜みなとみらいホール

出演: 秋山和慶(指揮) / 小山実稚恵(ピアノ) * / 東京交響楽団

曲目: J.シュトラウスII: ワルツ「美しく青きドナウ」
ラフマニノフ: ピアノ協奏曲 第2番 *
ドヴォルザーク: 交響曲 第9番「新世界より」

料金: 未定

一般発売日: 2017年7月11日(火) * 1/6 所沢公演を除く

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

お問い合わせ:

ミュージックチケットカウンター 04-2998-7777 (1/6 所沢公演)

TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511 (平日: 10:00~18:00)

TOKYO SYMPHONY オンラインチケット <http://tokyosymphony.jp>

<出演者プロフィール>

小山 実稚恵 (ピアノ) Michie Koyama

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー、ショパンの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで、常に第一線で活躍し続けている。全国6都市にて行われている2006年からの12年間・24回リサイタル・シリーズが、本年いよいよ12年目を迎える。これまでに国内の主要オーケストラはもとより、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ロイヤル・フィル、シンフォニア・ヴァルソヴィア、ワルシャワ・フィル、モントリオール響などと共演しており、フェドセーエフ、デュトワ、小澤征爾といった国際的指揮者との共演も数多い。2011年の東日本大震災以降、被災地で演奏を行っており、2015年夏より被災地活動の一環として自ら企画立案したプロジェクトが、仙台においてスタート。CDは、ソニーと専属契約を結んでおり、2016年12月には、29枚目の『Cantabile』(ベスト盤)をリリース。これまで、2005年度 文化庁芸術祭大賞、2013年度 東燃ゼネラル音楽賞、2015年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞。

東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、京都音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とはパートナーシップ協定を結び、コンサートやアウトリーチ活動を展開しているほか、新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。教育面では「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」が注目されている。海外公演も多く、これまでに57都市76公演を行っている。音楽監督にジョナサン・ノット、正指揮者に飯森範親、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダール、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。2016年、創立70周年を迎え、同年10月ウィーン楽友協会を含むヨーロッパ5カ国での公演を行い好評を博した。HP <http://tokyosymphony.jp>

【お問合せ】

公益財団法人東京交響楽団 広報本部/高瀬 takase@tokyosymphony.com

TEL: 044-520-1518 FAX: 044-543-1488